



作家

三浦しをん

野球する夢を見ました」「ふむ、野球はバットとボールを使う競技ですから。あなたは十中八九、欲求ふま……」「ぎゃーっ。武士の情けじゃ、みなまで言わないでください！」といったことになるのではあるまいか（↑心理学への

心理学への警戒心ほどけた

たとえば、「オオカミに育てられた少女の知的能力は、ほとんど発達することがなかった」という、もっともらしい「実話」がある。「幼児期や児童期の環境や教育がいかに大切かを如実に示す例として」語られることが多い。

リミナル効果」についても言えるのだが、私などは、これまで、「あわわ、サブリミナルで心を操られちゃうのか」と無闇に恐れていた。本書を読み、反省しきりだ。まっとうな心理学の研究成果を知ろうともせず、根拠なき

誤った認識）。そんな不安があるからだろう。

だが、心理学に対する警戒心や誤解を、丁寧に解きほぐしてくれる本があった。『オオカミ少女はいなかった 心理学の神話をめぐる冒険』鈴木光太郎・新曜社）だ。

ところが、この話は実際は、オオカミ少女を「発見」し報告したひとの捏造（ねつぞう）なのだ。少なくとも、大幅な脚色がほどこされた話であると、その後の調査や研究で明らかになっている。

同じようなことは、「サブ

俗説に振りまわされ、ついには心理学そのものに苦手意識を持つようになっていたなんて、バカみたいだ。

ひとの心の謎に迫るため、

慎重かつ真摯に実験や調査や研究を積み重ねる。心理学の本当の姿、学問としての重要性が、素人の私にもわかりやす

く書かれていた。食わず嫌いはいはやめだ！ 眉唾説を見抜けるよう、今後は積極的に

本よみつくり塾

書・神 莫山



本の値段は抜きです

心理学の本をかぎりの